

2021年度第2回運営推進会議

ゆめとまの家おしどり報告書

2022年3月

湖南省サイドタウン 3-8-33
社会福祉法人近江ちいろば会
ゆめとまの家おしどり
TEL 0748-74-8880
Fax 0748-74-8881

日頃はゆめとまの家おしどりのご利用、ご支援ご協力誠にありがとうございます。

今年度も新型コロナの脅威にさらされた一年間でした。その中でいかに心身の健康を保ち、デイサービスの運営を継続していくかが重要だと再認識する年でもありました。デイサービスが数少ない人とふれあう機会となり貴重な社会参加のひとつであり、ともなって食事や入浴、運動、様々な活動など日常生活を続けていく上で大切な役割を担っていることをあらためて実感しています。

その中でも人との会話や関わりが生きる意欲につながっていることを強く思います。ゆめとまでの日中の生活がその一助となることを目指して活動しています。また感染症対策も日々の活動の一つとなっています。

遅くなりましたが、依然として感染症が治まらないため、紙面にてご報告させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ゆめとま2021年度の目標

“自分らしく
主体性を発揮できるデイサービス“

自らの意思で決断し、自分らしい表現で持てる力を発揮し、生き生きと生活することを目指しています。

※感染症対策としてこんなことをしています

- ・手洗い、消毒、マスクの着用
- ・換気（常時窓を数か所開けています。
合わせて空気清浄機の活用）
- ・卓上に仕切りのアクリルボード設置
- ・送迎時の検温と手指の消毒
- ・来所時、その他適時手洗い、
- ・来所後検温等（バイタルチェック）
- ・食事中は黙食
- ・食後のテーブル、アクリルボードの消毒
- ・お送り前にもう一度検温
- ・送迎車両の換気と消毒
- ・室内清掃と消毒

☆毎月の感染症委員会にて、感染症や新型コロナウイルスの最新の情報を共有し、対策に努めています。

☆研修や会議など zoom 等のオンラインの活用により、3密回避と業務改善につなげています。

ゆめとまの家おしどりの概要

- ・地域密着型通所介護
- ・基本の利用時間 8:45~16:15
- ・利用定員 12名
- ・現時点で要介護の方、要支援の方合わせて全部で31名の方がご利用くださっています。
- ・平均利用者数 6月時点で1日平均約8名
→現時点で1日平均9.6名に増えました。
(内男性3:女性7の割合)
- ・平均要介護度 要介護 約1.8→約1.6
介護度が軽減した方 2名おられます。
- ・個別機能訓練 現時点で約7割の方が希望
- ・入浴 約5割の方が入浴希望

・3月中旬からご家族を含めての健康観察ノートに毎回記入のご協力をいただき、ご本人ご家族等全員で健康を守っています。(健康に関する質問など8項目)

☆介護保険法の改正により、

今年度から新たな加算の算定をさせて頂いています。

① 『科学的介護推進加算』

→ 認知面・身体機能・嚥下状態等の評価

② 『入浴介助加算Ⅱ』

→ご自宅の浴槽を拝見し、より近い環境での入浴の実施、動作の評価

⇒ケアの質の向上と生活の維持向上につなげています。

ゆめとまの活動

♪到着されるとまず玄関で手洗いします。

各自靴や上着に名札を付けてその後お席へ。名前を探したり、洗濯バサミのようになった名札を付けることは指先や脳のリハビリにつながります。

各自、ノートに日付、名前、その日の献立やバイタルを記入します。

書くことは心身の活性化につながります。



野菜の看板作り
カンナ削り

ご本人と相談しながらそれぞれの目標を立て、生活の維持向上につながるよう機能訓練指導員による個別機能訓練（少人数や個別で）を希望者に行います。



セラバンドを使った体操

園芸活動



春の日差しの中、畑作りや野菜の間引きに活気が出ます。



調理する、盛り付けをする、運ぶ、食後の食器洗いや食器拭き、机やアクリル板の消毒など、手分けして行っています。



一品調理

テーブル上には仕切りのアクリル板を常時設置。



新聞をハサミで切る
その新聞紙でゴミ箱の内袋を折ります。

生活の中にお互いに
出来る事をする事で
自然と役割が生まれます。
それが自信や意欲につなが
っています。



食器拭き

☆昨年の11月から週に2回の昼食作りを行っています。
4月からは週に3回昼食作りの予定です。



高さを調節することで洗濯物干しが容易になります。

その一つ一つが 生活リハビリ



ランチョンマットはアイロンのおかげで、いつもしわなしで清潔です。



午後のひと時に青竹踏み

※引き続き感染症対策に努めます。